

2. 火山の概況

(平成16年11月4日～平成16年11月10日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では火映や鳴動があった。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は3。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いている。レベルは2。

霧島山の御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

桜島では爆発があった。

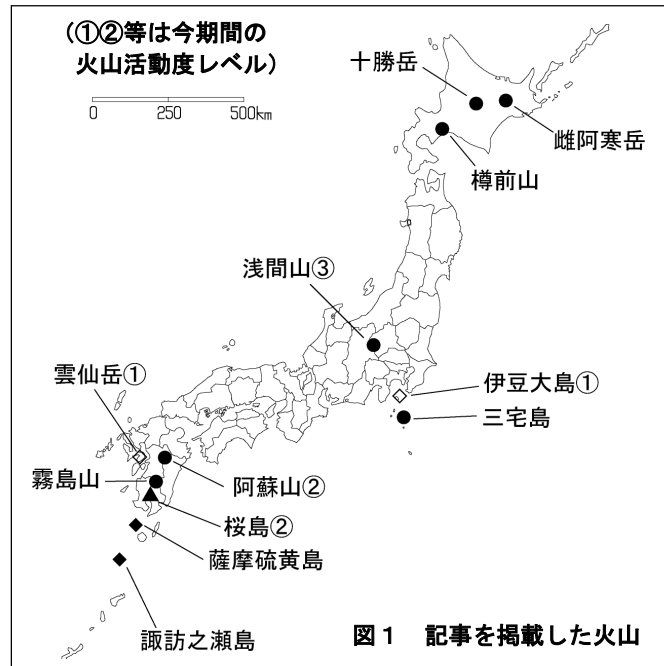


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	三宅島	須美寿島	伊豆鳥島	西之島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島	
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号												
46	11/4-11/10	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	●	●	●	●						●	◆	◆
45	10/28-11/3	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	◆					●	●	▲
44	10/21-10/27	③	●	①	◆	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●						●	▲	▲
43	10/14-10/20	③	▲	①	●	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●						●		
42	10/7-10/13	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●			●	●	●	●	●	◆	◆

注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● **雌阿寒岳** [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口は、噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● **十勝岳** [噴煙・熱]

62-2 火口は、噴煙活動の活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200m で推移した。

● **樽前山** [熱]

A 火口および B 噴気孔群は、噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● **浅間山** [火映・鳴動・地震・微動] **レベル3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)**

今期間噴火は観測されなかった。

白色噴煙が山頂火口から連続的に噴出しており、最高で火口縁上1,000mまで上がった。火映が高感度カメラ¹⁾でほとんど毎夜観測され、9日夜には肉眼でも確認された²⁾。5日08時前から09時過ぎにかけて、火口の北北東約4km付近で「ゴー」という鳴動が聞こえたとの報告があったが、噴煙活動等に特に

変化はみられなかった。これは火口内の噴気の噴出に伴って発生したものと思われる。

10日午前中に上空から実施した火口内の観測³⁾では、火口底の形状に前回(10月28日)から大きな変化はみられなかった。赤外カメラによると火口底中央の高温部の面積が前回よりやや拡大していた。

振幅の小さい火山性地震の発生回数は1日あたり43～108回、火山性微動の発生回数は1～7回で、引き続きやや多い状態であった。

- 1) 国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所が山麓に設置。
- 2) 山頂の北北東約4km付近において軽井沢測候所職員が確認。
- 3) 長野県の協力により気象庁と東京大学地震研究所が実施。

◇ 伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

● 三宅島 [噴煙・熱・火山ガス・地震]

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、最高で火口縁上800mまで上がった。

9日に上空から行った観測⁴⁾では、火口内の地形に特に変化はみられず、赤外カメラによる観測では、火口内の最高温度は140℃であった。(前回(11月2日)は189℃)。火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は日量2,600～3,500トンで、依然として多い状態であった。

振幅の小さいやや低周波の地震は1日あたり20～70回観測された。

- 4) 航空自衛隊の協力による。

● 阿蘇山 [熱・噴湯現象・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

4日及び9日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は緑色、量は約8割で前期間と変化なく、表面温度の最高は72℃(前期間は67℃)で、火口壁の最高温度は161℃と依然高温であった(前期間は161℃)。湯だまりの中央、西及び南西側で噴湯現象があった。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上300m(前期間500m)であった。

孤立型微動の発生回数は352回であった(前期間は429回)。また、継続時間の短い火山性微動が53回発生した(前期間はなし)。地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。4～5日及び9日に時々噴気が監視カメラで観測され、その最高は火口縁上200mであった。

▲ 桜島 [爆発] レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火が1回あり、爆発であった(10日15時57分発生)。噴火に伴い灰白色の噴煙が高さ火口上800mまで上がり北西に流れた。噴火の発生は8月14日以来、爆発の発生は7月2日以来であった。期間中、鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰は観測されなかった(前期間もなし)。

◆ 薩摩硫黄島

地震活動に変化はなく、火山性微動は発生しなかった。

◆ 諏訪之瀬島

10月28日(前期間)以降噴火の発生はなく、地震活動も低調で、火山性微動は発生しなかった。

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第 131 号	4 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、微動やや多い）。レベルは 3。
	火山観測情報第 132 号	5 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、微弱な火映を観測）。レベルは 3。
	火山観測情報第 133 号	6 日 16:00	
	火山観測情報第 134 号	7 日 16:00	
	火山観測情報第 135 号	8 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし）。レベルは 3。
	火山観測情報第 136 号	9 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、微弱な火映を観測）。レベルは 3。
	火山観測情報第 137 号	10 日 16:00	前日及び当日 00 時～15 時の活動状況（噴火はなし、肉眼で火映を観測、上空からの火口観測結果）。レベルは 3。
三宅島	火山観測情報第 616 号 ↓（1 日 2 回発表）	4 日 09:30 ↓	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第 629 号	10 日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第 53 号	5 日 11:00	火山活動は引き続きやや活発（湯だまりの高温状態継続、噴湯現象あり）。レベルは 2。